

## 政策 3 医療の確保

### 目 的

すべての県民が、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、適切な医療を提供できる体制を整備します。

### 現 状 と 課 題

離島や中山間地域では無医地区があるなど、医師の地域偏在が著しくなっています。また、産婦人科、小児科など特定の診療科の医師が不足するなど、地域医療の拠点となっている中核的な病院においても医師不足が深刻化しています。

看護職員についても、不足が見込まれていることに加え、県内で養成した人材が県外へ流出している状況もあり、不足に一層拍車がかかっています。

死亡原因の第1位であるがんに対する総合的な対策として、平成18年には、がん医療水準の向上等を目指し「島根県がん対策推進条例」が制定されました。

### 取 組 み の 方 向

医療機関の連携強化を一層推進し、総合的な医療提供体制の確保に取り組みます。「即戦力となる医師の確保」と「人材の養成」により医師の確保に取り組みます。看護職員の勤務環境の改善・充実や、養成機関との連携強化などにより看護職員の確保に取り組みます。

県立病院では、県内全域を対象とした救急医療や高度・特殊医療、地域医療支援等を充実し、安全・安心で良質な医療を提供します。

がん医療水準の向上や緩和ケアの推進、患者・家族への支援等、がん対策を総合的に推進します。

### 成果指標と目標値

| 成果指標       | 平成19年度 |   | 平成23年度  |
|------------|--------|---|---------|
| 救急病院数      | 24病院   | ➡ | 現行水準を維持 |
| 病院勤務医師の充足率 | 80%    |   | 80%台を確保 |

救急医療を担当する病院数です。

必要な医師の数に対する、実際に勤務している医師の割合です。

## 県が実施する施策

|                 |     |        |
|-----------------|-----|--------|
| 医療機能の確保         | ・・・ | P-180- |
| 県立病院における良質な医療提供 | ・・・ | P-182- |
| 医療従事者の養成・確保     | ・・・ | P-184- |

## 県民の皆さまへ

健康や病気のことについて気軽に相談でき、必要があれば病院を紹介してもらえるような「かかりつけ医」を持ちましょう。

県外から医師を確保するためには、県に縁のある医師の情報が必要です。県内勤務の可能性のある医師をご紹介ください。〔情報提供先：医療対策課〕

財団法人島根難病研究所では、がんの早期診断や治療のための医療機器整備を目的とした「がん対策募金」活動を行っています。県民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

### 〔取組み事例〕

#### 【地域医療確保の取組み】

隠岐病院においては、医師や看護職員が地域の座談会に出かけ病院の取組みについて説明し住民と意見交換を行っています。

また、邑智病院では、病院の今後のあり方を検討する委員会に郡内の住民代表を加えたり住民説明会を開催して、情報の開示や意見の聴取を行っています。

#### 【がん患者サロンの取組み】

島根には、現在 16 カ所のがん患者サロンがあります。がん患者やその家族の人たちが中心となり、患者同士の交流のほか、学習会を開催するなど活動の範囲を広げています。

#### 【地域医療を担う医師の養成】

島根大学では、将来の地域医療を担う医師を養成するため、地域枠推薦入学制度や地域医療実習など様々な取組みを行っており、県としても奨学金制度などで支援をしています。